

社会福祉法人 楽慈会について

(富雄保育園・富雄第三幼稚園の民間移管にあたって)

理事長よりご挨拶

奈良市内で医療、介護、保育などの施設運営をしています。
社会福祉法人楽慈会 理事長の森山朋子でございます。

「愛と希望に輝き 感謝と慈しみの心いっぱいに藍（愛）」
の花が咲き誇る学園」を作りたい想いで、京都府木津川市に
認定こども園を平成29年に開園致しました。

遊びの中で気付きや発見をもとに集団生活の中で忍耐力・協
調性を育て、将来の社会生活に適応できる調和の取れた人間
性豊かな子どもの育成を支援することを大切にします。宜し
くお願い致します。



社会福祉法人 楽慈会
理事長 森山 朋子（もりやま ともこ）

公私連携幼保連携型認定こども園の園長・主幹保育教諭予定者の紹介

園長予定者 松本 知子（まつもと ともこ）



園長予定者の松本知子と申します。奈良市の公立幼稚園に45年
間携わって参りました。奈良市のめざす「生き抜く力」を身に
つけて行く為に、子どもたちが主体的に遊び一人一人のもつ力
を引き出していく保育・教育を充実させていくつもりです。子
どもたちが「楽しかった。明日も続きをして遊びたい。」と楽
しみにしてくれる園になるように努めたいです。
宜しくお願い致します。

【経歴】

昭和50年	奈良市職員（幼稚園教諭）として採用
昭和50年～平成15年	市立幼稚園 幼稚園教諭として勤務
平成15年～平成22年	奈良市教育委員会で指導主事として勤務
平成22年～平成27年	市立幼稚園・認定こども園 園長として勤務
平成27年～令和2年	市立幼保施設の園長指導担当として勤務

主幹保育教諭予定者 山本 比登美（やまもと ひとみ）



奈良市の公立保育園に40年間勤め、日々未来の子どもたちの育成に携わっていきたい気持ちから今回、関わらせて頂く事になりました。年齢や発達に応じ、生活や遊びの中で乳幼児期に必要な経験ができるように保育内容や、教育内容を考え「明日も行きたいなあ」と思える園、また、保護者に寄り添い安心感を持って預けて頂ける運営を心がけたいと思います。

【経歴】

昭和50年	奈良市職員（保育士）として採用
昭和50年～平成19年	市立保育園 保育士として勤務
平成19年～平成25年	市立保育園 副園長として勤務
平成25年～平成27年	市立保育園 園長として勤務

主幹保育教諭予定者 荒木 啓好（あらき けいこ）

主幹保育教諭予定者の荒木啓好と申します。私は、奈良市等にて保育教諭及び保育指導者等として勤務して参りました。奈良市の「生きる力を育む教育・保育」を基本とし、子どもたち一人一人の持てる力を引き出しつつ、伸び伸びと自己を発揮し楽しむことのできる力を身に付けていきます。また、保護者の皆様が安心して子どもを産み育てられる環境創りに努めてまいります。宜しくお願い致します。



【経歴】

昭和64年～平成2年	奈良カトリック幼稚園 職員として勤務
平成7年	奈良市職員（幼稚園教諭）として採用
平成27年～平成28年	奈良市こども園推進課で指導主事として勤務
	奈良市こども発達センター主任として勤務
平成28年～平成30年	京都教育大学附属幼稚園 教諭として勤務

法人の概要

当法人の概要は次のとおりです。

令和2年4月1日現在

法人の基本情報

【法人名称】

社会福祉法人 楽慈会（しゃかいふくしほうじん らくじかい）

【法人事務所所在地】

〒630-8141

奈良県奈良市南京終町13番地4

【代表者名】

理事長 森山 朋子

【設立年月日】

平成13年10月3日

【職員数】

役員15人 / 正規職員96人

【保育方針】

平成13年に社会福祉法人楽慈会を設立し、平成29年に幼保連携型認定こども園藍咲学園を開設しました。藍咲学園の保育方針を紹介します。

保育目標

知育 好奇心いっぱいに疑問を発見に変え、自分らしさを表現できるこどもを育みます。
体育 元気で丈夫な体のもと、失敗を恐れず最後までやり遂げる強いこどもを育みます。
徳育 礼儀正しく、人との関わりを大切にし、相手を思いやれる心を育みます。
食育 豊かな四季折々の食物に感謝し、食べることを通じて食の大切さ、生きることの喜びを体で感じるこどもを育みます。

教育方針

遊びの中の気づきや発見をもとに、集団生活の中で、忍耐力・協調性を育て、将来の社会生活に対応できる調和の取れた人間性豊かなこどもの育成を支援します。こどもたちの無限の可能性を多方面から引き出し、心身共に健康なからだ作りを行い、日本の伝統文化や四季のすばらしさを肌で感じるこどもができるように支援します。

基本理念

当法人の保育に対する基本理念についてご紹介いたします。

- 子ども自ら、人生を切り拓くことができる「生きぬく」力を育成します。
 - ・知識や技能を得て、それを活かしたり、健やかに生活を送ることができる環境を整えます。そうした生活を実現させようとする姿勢や意欲を認め、課題や困難に立ち向かえるように育てます。
- 子どもの視点に立ち、「子どもの最善の利益」を第一に考え、次代を担う子どもが大きく羽ばたき、明日への夢と希望をもって心豊かに育つよう、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障していきます。
 - ・一人一人の人格を尊重し、子どもの幸せを第一に考えます。
 - ・子どもが自己実現できるような安心して生活できる保育環境を整えます。
- 生涯にわたる「生きる力」の基礎を培うことを目標に、様々なこども園の環境を通して、養護と教育を一体的に行います。
 - ・人に対する思いやりの気持ち、人を包む優しさ、人に対する信頼感を育てます。
 - ・どんなことにもあきらめない強い心やたくましさを育てます。
 - ・様々な体験を通して、豊かな感性を培い、想像力や表現力、独創性などを育てます。
- 保護者や地域の子育て支援としての役割を担います。
 - ・保護者と常に連携し、子どもの成長を共に喜び合うとともに、保護者の子育てを支えていきます。
 - ・地域にいる子育て家庭への支援にも努めます。

施設整備にあたっての考え方、概要

施設整備にあたり大切にしていること等の基本的な考え方をご紹介します。

【施設整備の概要】

- ・令和3年1月より、一般競争入札にて業者の選定を行い、令和4年の4月開園に向けて施設整備を行っていきます。
- ・1階で3～5歳児、2階で0～2歳児の教育・保育を実施します。
- ・園庭の他に、サブ園庭や遊戯スペースや畑も整備することで、生活や遊びの中での乳幼児期にこそ必要な経験を保障します。
- ・清潔で、心地よく眠れる環境（室温、湿度、換気、採光）を整えます。
- ・現在の富雄保育園及び富雄第三幼稚園から距離的には大きく離れていない場所に整備することで、生活の連続性を確保し、環境も継続することが出来るようにします。

【施設整備にあたっての考え方】

- ・就学前の教育・保育に対する多様なニーズに対応し、地域において子どもたちが健やかに育成される環境の整備を図ります。また子どもたちが安心して育てることができるよう耐震等の基盤整備を行い、防犯対策を強化します。
- ・富雄保育園・富雄第三幼稚園地域の方だけでなく小学校区域、地域の関係機関、消防、警察、医療機関、自治会等、また近隣の商店街や企業、集合住宅とも連携を図りながら、地域密着型を目指した施設にします。

※公私連携幼保連携型認定こども園 新園舎の施設整備イメージについては別紙資料をご参照ください